

予報期間 9月23日から9月29日まで

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 台風第18号と第19号については最新の台風予報を参照。
- 25日は、低気圧が発達しながら日本海からサハリンに進み、前線が北日本から日本海にのびる。
- 26日から27日は、高気圧が日本海から北日本へ移動する。
- 28日から29日は、高気圧が日本のはるか東に移動し、前線を伴った低気圧が日本海から北日本付近に進む。

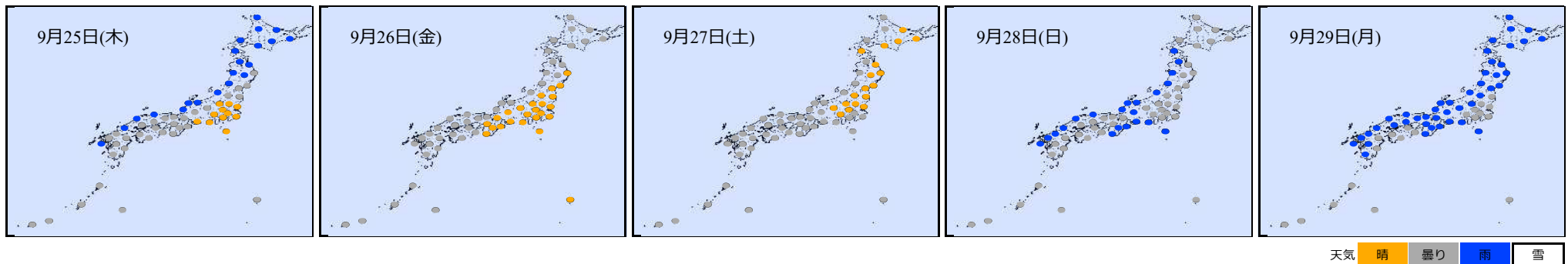
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 25日は、発達する低気圧の影響で北日本では荒れた天気となり、低気圧の発達程度等によっては警報級の大雨や大荒れの天気となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

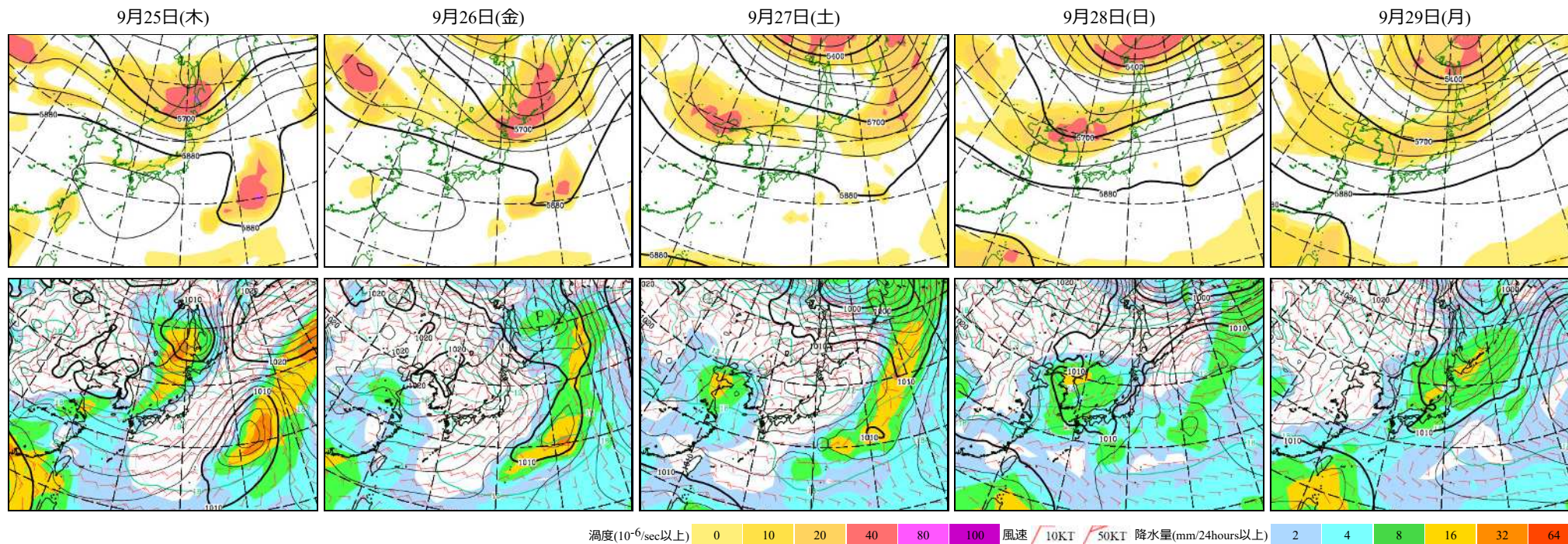
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

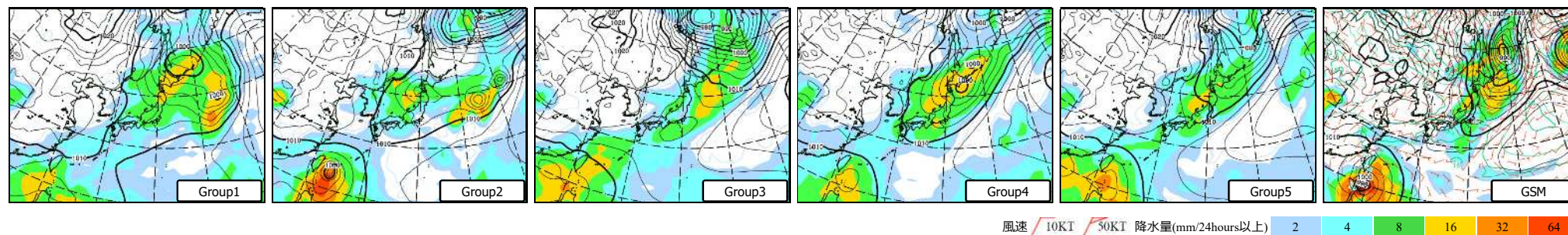


- 北日本は、曇りや雨の日が多いが、26日から27日は晴れる所もある。
- 東日本は、晴れまたは曇りの日が多いが、25日と28から29日は雨の降る所がある。
- 西日本は、雲が広がりやすく、雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲の広がりやすい日が続く。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆9月29日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、26日に北日本を進むトラフが深くなった。28日に朝鮮半島付近に進むトラフが深くなり、東進はやや遅くなった。地上の予想も28日から29日に日本海から北日本に進む気圧の谷が明瞭となった。台風第19号が日本の南をゆっくり西進する予想のメンバーは少なくなった。
- 台風第19号の予想は、北上のスピードや進路にモデル間の差はあるが、日本のはるか東に進んで期間後半にかけて日本から離れていく予想は各モデルで一致してきた。28日から29日にかけて、トラフの位相にややモデル間の差は見られるものの、前線を伴った低気圧が日本海から北日本付近を通過する予想はおおむね一致している。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報はおおむね最新のENSを基に考える。